



【セカンドハンド事務局からのお知らせ】札幌市で開催されているフェアトレードフェスタに、毎年セカンドハンド北海道がフェアトレード商品の委託販売で出店しています。今年は新型コロナウィルスの影響で会場でのイベント開催は中止となったものの、HPやYouTubeを中心としたオンラインで「フェアトレードフェスタオンラインさっぽろ2020」として各団体の活動紹介がされており、セカンドハンドも毎月動画をアップしています。この動画の制作には、香川県内で活躍している本多春奈さん、Studio SUMUS、セカンドハンド各店舗でボランティアをして下さっている皆様にご協力頂きました。楽しい動画になっているのでぜひご覧ください♪



<https://fes.fairtrade-hokkaido.org/2020>



夏休みを利用して、ユースのウェブサイト開設に注力しました。サイト制作を通して活動の意義を再確認し、今の置かれている環境で何ができるのかを考える貴重な機会になりました。

定期的に行っていた街頭募金も再開できておらず、今年はまだ思うような活動ができていません。そこで、今年度に限りサイト内に寄付ページを設けることにしました。ご寄付でユースの活動を支えて下さる方はどうぞよろしくお願いします！集まったご寄付は、ユースが支援を行う6名の学生の奨学金として使わせて頂きます。



<https://2hyouth.wixsite.com/secondhandyouth>



6月～8月までの3か月間にご寄付を下さった方々です。【順不同・敬称略】

青野千恵子、赤井俊二、有限会社一宮工業 代表取締役 赤松明子、家次加奈、伊賀憲子、市川雄二、井下喜美代、今井誉子、遠藤寛、大森桂子、岡野道子、小川佳緒里、柏原裕美、川崎多恵子、河田久仁枝、神崎利子、木村明仁子、四国装備株式会社 今井里美、四国物産株式会社、島田美智子、下地初子、シユエリン公子、白川ふみ、末澤一誠、高木美枝子、高島清磨、高橋美也子、高橋利治、田中正利、玉木寿美子、俵恵美、塚田泰代、友近規、豊嶋正子、鳥かい歯科医院、中澤力、浪花美津枝、沼田章、ネットトヨタ高松株式会社、のぞみ総合法律事務所、羽島秋恵、林純子、林陽一、平井弘子、福島美代子、舟越一隆、細井香、前田洋枝、升崎里美、松原志乃、松本崇臣、マンスフィールド雪江、三木佳子、美濃吉広、三原主幹、宮本明宜、三好ひさこ、森登代子、藪脇恭子、山名素子、山本ひろみ、横田千春、吉本暁、吉本房子、米倉逸克、若杉淳子

Cambodia memo

合掌「ソンペア」は、相手が地位のある人程、合掌の位置が上がる。
年下や友達→胸
年上→鼻
僧侶や先生→おでこ
国王→頭の上



本部・高松店

〒760-0055 高松市観光通1-1-18

TEL: 087-861-9928

営業時間: 月～金 10時～16時

定休日: 土曜、日曜、祝日



片原町店

〒760-0040 高松市片原町9

TEL: 087-822-3552

営業時間: 月～金 10時～18時

土・日・祝日 10時～17時



松縄店

〒760-0079 高松市松縄町37-5

TEL: 080-4999-0494

営業時間: 平日11時～19時 土日11時～18時

定休日: 木曜、金曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティーショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています

公益社団法人セカンドハンド

〒760-0055 香川県高松市観光通 1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928

E-mail: jimukyoku2hand@yahoo.co.jp <http://2nd-hand.main.jp/sh/>



あなたの手を、世界の誰かに。

Sambot

セカンドハンド通信

今年度から支援を開始しているマラウイ共和国も、コロナで学校閉鎖や経済活動の制約など受けました。そんな中、子どもたちの教育支援を進めている現地団体 OAU(Orphan Affairs Unit)は、日本からの支援金を活用し、貧困家庭への食糧を配布する活動を実施しました。閉鎖されていた公立学校も9月中旬から再開し、新設中の幼稚部学舎の柵を作り、学校開設準備も進んでいます。



Contents

新型コロナウイルス感染症緊急支援

Network

Special Thanks

2020 October
Vol.
102

新型コロナウイルス感染症緊急支援



KKEV
プノンペン市
センソック地区



カンボジアでは4月から学校を閉鎖し、小学生の子ども達は学校にプリントを取りに行き、それを使って家庭学習をしていました。中高生はオンラインでの学習をするよう政府より指導されていましたが、貧困家庭の子どもたちにとって、テレビやパソコンもしくはスマートフォンを使ってのオンラインの学習は容易なものではありません。現地NGO KKEVのセンターではセンター内のテレビやパソコンを支援する地域の生徒達が使用できるようにしていましたが、台数に限りがあることや、政府から集会が禁止されていることから、全員が使用することはできませんでした。オンラインの学習ができない生徒は、教材不足により学習の遅れが出ています。

9月に入って学校が再開し、KKEVが支援をする子ども達も学校に通い始めています。しかし、新型コロナウイルスの感染予防対策で、1回の授業を受けられる子ども達の数は25名までと制限されており、子どもたちは週に2日しか学校に行けません。残りの日はこれまでと同様に学校から配布されたプリントを使って家庭学習をしなければならず、子ども達の学習理解度の低下が懸念されています。また、貧困家庭にとっては、感染予防のためのマスクや消毒用品の購入が、新型コロナウイルスによる失業や収入減などの困難な状況の中で、更なる負担になっています。

感染拡大に対する不安を抱きながらの学校再開ではありますが、「久しぶりに学校で学べること、先生と友達に会えることが嬉しい！」と子どもたちは笑顔で学校に通っています。



Children's
Independence
Support
子どもの
自立支援

ホームランド
バantanバン州



皆様からいただいたご寄付をもとに「新型コロナウイルス感染症緊急支援」としてセカンドハンドが支援をしているカンボジアの現地NGO KKEVとホームランドへそれぞれ2,000ドルの支援をしました。支援金は主に各団体が支援する貧困家庭への食糧支援に使わせていただきます。

また、県内で新型コロナのために困っている方々への支援として、香川県社会福祉協議会の「香川県子どもの未来応援ネットワーク事業」(県からの受託事業)に20万円を寄付しました。登録している「支援の場」(地域の子どもを支える食堂や学習支援等)への応援助成に充てられ、各地の「子ども食堂」等の食材・弁当の購入などに使われます。

ご寄付をくださった皆様、ありがとうございました。引き続き、「新型コロナウイルス感染症緊急支援」へのご寄付を受け付けています。ご協力いただけます方は、同封の払込取扱票のメッセージ欄に「緊急支援」とご記入ください。皆様のご協力よろしくお願ひ致します。

昨年10月、25周年事業でカンボジア人と交流をしてくれた香川県立高松商業高校英語実務科2年生の皆さんより、現地へのメッセージをいただきました。(一部を抜粋)

遠い日本からですが、応援しています。私も自分にできることを何か見つけて少しでも皆さんの助けになりたいです。

今は辛くても絶対に笑える日が来ます。きれいごとみたいですが、諦めないでください。Don't give up!!

No rain No rainbow.



ホームランドが支援する子ども達は、家族の収入がなくなり日々の暮らしに困窮する状況が続いています。学校が再開されるまでの間は、テレビやパソコン等の環境が整わず、学習意欲がある子でも、このまま勉強を続けられるのかどうかを悩み、不安な毎日を過ごしていました。

学校の再開に伴い、ホームランドは各家庭へ、お米や調味料等の食糧品の提供(左写真)に加え、制服や文具等の学用品を支給しました。子どもたちはまた学校に通えることで先生や友達に会えること、勉強ができることが嬉しく学校が終わった後も自主的に家庭学習をしたり、友達と楽しく遊んだりと、心身ともに健康な姿を見せてくれています。

